

劇場映画 企画書

映画『わたしのかあさん — 天使の詩 —』

知的障がい者の両親に高子は生まれた。
一時は周囲と違う両親を恥じ、障がい者をも憎んだが、
時は流れ、今は障がい者施設の園長となっていた。

ある日、高子は母について講演を依頼される。高子を変えた、母・清子の思い出とは…。

「かあさん、大好き。私を産んでくれてありがとう。」



2024年1月末完成予定

創立73周年 || 株式会社 現代ぷるだくばん

作品概要① 原作 わたしの母さん(菊地澄子著)

今度の物語は、知的障害者の夫婦から優秀な子供、高子が生まれるというお話です。その娘は小学四年生になって、他のお母さんと違う、自分の母の行動について、少しおかしいことに気が付きます。そして大嫌いになっていく。

しかし、親友の優子の医者父より、「障害をもった人は大体百人に一人位の率で生まれる。どこに出るか分からない。あんただったかもしれない」「健常児と言われる全員が「もしかして私だったかもしれない」と思ったら、障害を持った人達に優しくできるでしょう」と諭され、深く反省する。両親や障害児学級の子供たちと向き合っ、高子は成長して人間性を取り戻していく。

高子は成長して大人になると、なんと一度は毛嫌いしかけていた、障害者施設の園長になる。親友の優子は、裕福な両親の思う通りに医者になる道を嫌い、アルバイトで貯めたお金で大学に行き、保育園の園長になる。

このドラマは、そんな二人が大人になって、優子が高子の所に、あるお願いをしに訪ねてきたところから始まります。

作品概要②

周りの人々の感化によって「障がいを持っていたのが自分だったかもしれない」と言う事に気がつき、だんだん人間性を取り戻していく。IT企業などで働けば金銭的には楽かもしれないが、成人して福祉の道に進んだ高子、勉強していく中で糸賀一雄先生、田村一二先生、池田太郎先生方の影響を受ける。

しかし、最も影響を与えたのは、母親である。悪は善に負けるがテーマだが、悪口ばかり言っていた近所の人達も、だんだん仲良くなって、子供を預けるなど、母を信頼していく。周囲の人々の心を変えていく母の姿を見ていた高子の心は福祉の道に生きる決心をする。

この母を演じるのが寺島しのぶ、葛藤し悩む娘の高子は、成長後の姿を常盤貴子が演じます。子供は親を選べないけれども、親子の絆のかけがえのなさは簡単に他人と比較できるものなのか。

吃音の父を渡辺いっけい、清子の主治医として高子を優しく諭しながらも、娘はエリートとして教育したい医師を船越英一郎、高子の親友でも有る娘は安達祐実、近所の高齢者に山田邦子、養護学校の教員に東ちづる、さらに清子の兄を春風亭昇太、産み育てた祖母を高島礼子が演じます。

出演者

—高子と清子をとりにまく人びと（敬称略・順不同）

- 知的障害を持つ母・清子役 寺島しのぶ
- 秀才の娘・高子役 常盤貴子
- 船越英一郎、高島礼子、東ちづる、渡辺いっけい、
辰巳琢郎、安達祐実、春風亭昇太、渡辺梓、
山田邦子、窪塚俊介、小倉蒼蛙（小倉一郎）、
堀内正美、磯村みどり、松木路子

監督 山田火砂子

1932年1月23日東京生まれ。91歳。

第2次大戦後、女性バンド「ウエスタン・ローズ」で活躍。

その後、舞台女優を経て、現代ぷろだくしょんにて映画プロデューサーとなる。

実写版「はだしのゲン」、「春男の翔んだ空」、「裸の大將放浪記」など数多くの映画を製作・公開した。

1996年、アニメ映画「エンジェルがとんだ日」で初監督。これは重度の知的障害者である長女とともに歩んできた半生を題材としたもので、この時、64歳であった。

72歳で実写映画の「石井のおとうさんありがとう」を初監督し、現在まで制作活動が続けている。

平成17年：児童福祉文化賞 受賞
平成22年：日本映画テレビプロデューサー協会功労賞 受賞 :第55回映画の日執行委員会表彰
平成23年：児童福祉文化賞 特別部門賞 受賞

作品実績①製作作品

- 製作作品（公開年・山田火砂子年齢）

- ・ 「太陽の詩」（1974年・42歳）ドキュメンタリー

自身が重度の知的障害がある長女を授かっていたこともあり、広島の呉中央中学校の特別学級（通称「たけのこ学級」「たけのこ村」）の子供たちが埴輪を作る様子をドキュメンタリーにした。

- ・ 「はだしのゲン」（1976年・44歳）...出演：三國連太郎、左幸子

- ・ 「はだしのゲンPART2 涙の爆発」（1977年・45歳）...出演：宮城まり子、市原悦子

実写映画版「はだしのゲン」三部作は娯楽作として仕上げながらも、積極的に被爆者差別に焦点を当てた。

- ・ 「春男の翔んだ空」（1978年・46歳）...出演：永六輔、原佐知子

特殊教育の父・野杉春男の伝記を映画化。前述の「たけのこ村」村長を自任していたことで親交があった、永六輔氏を主演として起用。永氏自身が淀川長治氏からシリーズ化を薦められたという、フレッシュな魅力の先生像。

- ・ 「茗荷村見聞録」（1979年・47歳）...出演：長門裕之、殿山泰司

日本の障害児教育の草分けといわれる田村一二氏の著作を映画化。知的障害者と健常者が協働し、生産に従事する「田村ユートピア」の理念は、劇中でも触れられる予定の「ソーシャルファーム」の先駆とも言える。この田村の恩師でもある、糸賀一雄氏が戦災孤児と知的障害児の教育を行う「近江学園」を創設するが、当時の逸話が劇中でも一部描かれる予定である。

作品実績②製作作品

- 製作作品（公開年・山田火砂子年齢）

- ・ 「はだしのゲンPART3 ヒロシマのたたかい」（1980年・48歳）...出演：丘さとみ、風吹ジュン

- ・ 「裸の大將放浪記山下清物語」（1981年・49歳）...出演：芦屋雁之助、中村玉緒

テレビシリーズと同じ芦屋雁之助主演ながら、障害者の置かれた境遇の方に焦点を当てた異なる作風。火砂子プロデューサーもお弁当売りとして出演。当時は長女美樹さんも障害が軽く、二人の子連れで現場で奮闘した思い出の作品。

- ・ 「ユッコの贈りもの コスモスのように」（1982年・50歳）...出演：田村亮、宮本信子

- ・ 「もうひとつの少年期」（1983年・51歳）...出演：さとう宗幸

- ・ 「白い町ヒロシマ」（1984年・52歳）...主演：乙羽信子

- ・ 「ママ、ごめんねーあっこちゃんの日記」（1985年・45歳）...出演：江波杏子、なべおさみ

- ・ 「死線を越えて 賀川豊彦物語」（1988年・56歳）...出演：国広富之、黒木瞳

- ・ 「キムの十字架」（1990年・58歳）...出演：長門裕之、殿山泰司

作品実績③監督作品

- 監督作品（公開年・山田火砂子年齢）

- ・「エンジェルがとんだ日（アニメ映画）」（1996年・64歳）...出演：市原悦子、坂本千夏、
歌：森山良子

山田火砂子自身の初の監督作品。知的障害者である長女とともに歩んできた半生を題材としたもの。

- ・「石井のおとうさんありがとう岡山孤児院・石井十次の生涯」（2004年・72歳）...出演：松平健、永作博美

まだ明治時代、岡山県に日本で最初となる孤児院を作った石井十次の波瀾の生涯を映画化。

- ・「筆子・その愛—天使のピアノ—」（2007年・75歳）...出演：常盤貴子、市川笑也、加藤剛

日本最初の知的障害児教育施設である滝乃川学園の創始者・石井亮一と結婚し、障害児教育に生涯をささげた石井筆子の生涯を映画化。のべ100人の知的障害の子供たちと約一か月間一緒に暮らして撮影した。

- ・「大地の詩・留岡幸助物語」（2011年・79歳）...出演：村上弘明、工藤夕貴

1899年東京・巣鴨に非行少年の感化を目的として、家庭学校を創立、1908年には中央慈善協会を創立し幹事となるなど、近代日本の社会事業の基礎をつくった留岡幸助の生涯を映画化。

- ・「明日の希望・悲しみよありがとう高江常男物語（アニメ映画）」（2013年・81歳）...出演：水木一郎、市原悦子

“片目で両腕のない経営者”の異名を持つ高江常男の半生を描いたアニメーション。

作品実績④監督作品

- 監督作品（公開年・山田火砂子年齢）

- ・「山本慈昭望郷の鐘―満蒙開拓団の落日―（2014年・82歳）...出演：内藤剛志、渡辺梓、市川笑也、常盤貴子

まだ中国残留日本人孤児の問題に関心がもたれていなかった時代―。長野県長岳寺の住職のかたわら、孤児たちの肉親探しをはじめ、日中両国政府に働きかけ、多くの孤児の帰国を実現させた山本慈昭の生涯を映画化。

- ・「母 小林多喜二の母の物語」（2017年・85歳）...原作:三浦綾子 出演：寺島しのぶ、渡辺いっけい、塩谷瞬

三浦綾子の原作の魅力に惚れ込んだ、女優・寺島しのぶと山田火砂子監督。二人の出会いとなった作品。

- ・「一粒の麦 荻野吟子の生涯」（2019年・87歳）...出演：若村麻由美、山本耕史、賀来千香子、佐野史郎

嫁いだ夫から性病をうつされ、子供を産めなくなったことから、同じ境遇の女性の力になるべく、近代日本最初の公認女性医師となった荻野吟子の生涯を映画化。

- ・「われ弱ければ 矢嶋楫子伝」（2022年・90歳）...原作:三浦綾子 出演：常盤貴子、石黒賢、渡辺いっけい

武士で酒乱の夫と別れて自立し、教育者として成功し、男女共同参画の祖となった矢嶋楫子。三浦綾子氏の同名小説を映画化。「日本で一番初めに女性から離縁状を出した女」という異名の楫子を、監督が信頼する女優・常盤貴子が演じる。

監 督:山田火砂子
プロデューサー:上野 有

撮 影:2023年11月初旬より中旬

公 開:2024年2月公開予定

製 作:現代ぷろだくしょん

〒161-0034

東京都新宿区上落合2-22-23 上落合ハイツ409

TEL03-5332-3991 FAX03-5332-3992